

事業所職員向け 事業所における自己評価表(公表)

公表：令和6年2月26日

事業所名：津市児童発達支援センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指導訓練室等のスペースは、定員以下の少人数クラス（概ね3～5人）で利用しています。
	② 職員の配置数は適切である	○		児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準以上の職員を配置しています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された空間になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		バリアフリー化は、施設の設計段階で様々な障がいの特性に対応できるよう検討し、建設をしています。情報伝達は、職員からの口頭・文書による伝達だけでなく掲示板を活用しています。また、室内装飾を少なくするなど、支援環境を整備することで、お子さんが心地よく過ごせるよう配慮しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		利用者の方が清潔で、心地よく過ごせるよう清掃は毎日行っています。また、感染症対策を徹底するため、換気や消毒をクラスの入れ替え時に毎回行っています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		職員全体・発達クラス・通所クラス毎の会議を毎月行い、支援内容等について、PDCAサイクルによる業務改善に取り組んでいます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	○		年1回、保護者等向け評価表及び職員向け評価表作成のための調査を実施し、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果を津市ホームページ上で公開しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は実施していません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		県や他施設、医療機関が主催する研修会等に積極的に参加し、職員の資質向上を図っています。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、より良い児童発達支援計画を作成できるよう努めています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		必要に応じ、発達検査（新版K式発達検査2020）を指標とし、子どもの状況把握に活用しています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されている	○		具体的な支援内容を設定しています。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画に沿った支援を行い、児童発達支援管理責任者の確認の下、定期的な評価を実施しています。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラムは、チームのリーダー及びサブリーダーが連携して立案しています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		各プログラムが固定化しないよう、児童の個々の発達・興味に合わせて実施し、内容の評価を行ったうえで次回の支援内容に活かしています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別活動と集団活動を適宜組み合わせて、子どもの状況に応じて作成しています。また、個別活動については、友達との関わりも視点に入れて支援を行っています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に、担当クラスで支援内容や役割分担の確認を行っています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援提供毎にクラスを担当する職員間で、振り返りや気付いた点の情報共有を行っています。また、支援記録を作成し、施設内での情報共有に活用しています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援提供毎に支援記録を作成し、施設内での情報共有を図るとともに支援の振り返りを行っています。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		児童発達支援管理責任者が定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画に基づく目標に対する評価を実施しています。
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		支援に関して専門的な知識・経験を有する児童発達支援管理責任者が、その子どもの状況を十分把握した上で参画しています。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		母子保健の関係機関である保健センターや子ども・子育て支援を行う子ども支援課等、関係機関と連携し、支援を行っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	⑳ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っています。
	㉑ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等連絡体制を整えている	○		緊急時の速やかな対応ができるよう、関係機関との連絡体制を整えています。
	㉒ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じ、保護者の了解のもと、支援内容の提供を行い、情報共有と相互理解を図っています。
	㉓ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じ、保護者の了解のもと、支援内容の提供を行い、情報共有と相互理解を図っています。
	㉔ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		県や他施設、医療機関が主催する研修会等に積極的に参加するほか、サービス担当者会議への参加により、他機関から助言を受けるなど、連携を図っています。
	㉕ 保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		地域の保育所との交流や活動をともにする園外療育を定期的に行っています。
	㉖ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		地域の子ども・子育て会議に参加しています。
	㉗ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		当施設は親子で利用していただく「親子通所」での利用を基本としているため、逐次、子どもの発達の状況や課題について保護者との情報交換を行い、共通理解を持つよう努めています。
	㉘ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		就学前相談会の開催や2歳児の保護者に対して子育て支援の場を設ける等、定期的に家族支援の機会を設け、家庭療育へ繋げています。また、家族支援の視点から保健だよりにおいて情報提供しています。
	㉙ 運営規定、利用者負担金について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に重要事項、運営規定、利用者負担金を説明し、了解の上、署名をいただいています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		利用開始時に児童発達支援管理責任者から、「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容を説明し、同意をいただいています。
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に随時応じ、必要な助言や支援を行っています。
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者交流会等を開催し、保護者同士の連携を支援しています。
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		施設の利用契約時に相談や申し入れの窓口の説明を行っているほか、いつでも相談や申し入れができることを案内し、迅速かつ適切に対応する体制を整えています。
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		クラスだよりや保健だよりを毎月発行し、情報を発信しています。また、卒園式などの行事等を実施する場合は、毎月のたよりとは別に文書で保護者へ周知しています。
	③⑧ 個人情報の取り扱いに十分注意している	○		個人情報を含む文書は、あらかじめ保管場所を決め、施錠の上管理しています。また、口頭においても全職員が注意して取り扱っています。
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもの特性を把握し、配慮しています。保護者との意思の疎通や情報伝達については、通所時（送迎時）の機会を活用し必要な情報をお伝えしています。
	④① 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類へと移行しましたが、当施設が重症化リスクの高い子どもが通う施設であることから行事の参観を制限しました。また、近隣の小学校で行事があり、あらかじめ申し出のあった行事に関しては、施設の安全性を十分考慮した上で、駐車場を開放し利用いただいています。
④② 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定して職員へ周知しています。保護者への周知は、保健だよりや掲示板で周知しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回、避難訓練を行っています。また、避難訓練の中で防犯に対するものも実施しています。多くの子どもが参加できるよう、曜日や時間帯を工夫しています。
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等こどもの状況を確認している	○		保護者に聞き取りを行い、記録しています。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			食事の提供は行っていません。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例について会議で話し合うとともに、報告書の作成により情報共有を図っています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		庁内講師による研修を行っております。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		やむを得ず身体拘束等を行う場合は、検討委員会で決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しています。